

高等部教育目標				
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う				
探究型カリキュラム教育/学習目標				
SDGsの達成を目指し、Mastery for Serviceを体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける				
探究型カリキュラムにおける5つの学びの方針 Five Principles for Learning				
1. 自分事として <オーナーシップ/一人称>	2. 社会/実践を通して <PBL型/アクション>	3. 知識を大事に <自ら得る知識/高める関心>	4. コミュニケーションを通して <自分/他者のやりとり>	5. 生徒・教員が共に <共に探究する関係性>
上位学習目標				
【知識・技能】				
・ 社会で用いられているAI等のテクノロジーが持つ機能や役割、実例などの基礎的な情報を自分の言葉で説明することができる				
・ 簡単なプログラムを使って実際にAIを動かすことができる				
【思考力・判断力・表現力】				
・ 社会的課題について調べ、AI等のテクノロジー活用した解決方法を提案することができる				
・ AIが人々、社会にとって正しく活用されるための倫理的判断をすることができる				
・ テクノロジーが人間個人、社会に与える影響を考察することが出来る				
・ 上記事項について、他者に適切に提示/説明することができる				
【学びに向かう力・人間性】				
・ AIや新たな技術開発、イノベーションについてより深く知ろうとし、それを用いて解決しようとする姿勢を持つことが出来る				
・ 社会的課題に向き合う中で、AIなどに代表されるテクノロジーと上手に共生する必要があることに気づき、人間の本来の生き方について追求することができる				
下位学習目標				

授業日	4/16(火)	1 学期授業回数	1 回目 / 全 9 回																
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】① 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】② 本時の具体的な目標 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学びの記録」の書き方を体験する</li> <li>・AI が広く社会でどのように話題になっているかを知る</li> <li>・散らばった情報を協働して分類することが出来る</li> </ul>																		
時間 授業内容	5 時間目 6 時間目 5 分 40 分	合同オリエンテーションのため割愛  「AI 活用入門」の動画が視聴できるかどうかの確認 1) グループワーク <ul style="list-style-type: none"> <li>A) まずは個人で新聞記事を読む、適宜線を引く</li> <li>B) 4 人 1 組で新聞記事をロイロを使って分類する</li> <li>C) グループの代表者がロイロ提出箱に提出             <ul style="list-style-type: none"> <li>・メンバー全員のクラス、番号、名前を記載</li> <li>・どのような基準で分類したか、も記載</li> </ul> </li> </ul> 2) 個人ワーク <ul style="list-style-type: none"> <li>A) 分類に基づいて、自分の関心を 1 つに絞る</li> <li>B) 「学びの記録」を記入する             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「知識/事実」は新聞記事を通して知ったことを書く = K(now)</li> <li>・「考察」は、今回知った K と、既に知っていたや体験したことがあることを考察し、これからどのようなことを知りたいか、知らないといけないかを書く = W(ant to know)</li> </ul> </li> <li>C) 次回 4/23(火)の授業で「学びの記録」提出</li> </ul>																	
評価方法	学びの記録の評価ルーブリック <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">観点1 知識</th> </tr> <tr> <td style="width: 5%;">A</td> <td>論点をしっかりと整理して記述できている</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>論点をある程度整理して記述している</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>論点があまり整理して記述されていない</td> </tr> <tr> <th colspan="2">観点2 考察</th> </tr> <tr> <td>A</td> <td>得た知識と既知の知識・体験の有機的なつながりが多く見られる</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>得た知識と既知の知識・体験の有機的なつながりが多少見られる</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>表層的な感想や意見にとどまっている</td> </tr> </table>			観点1 知識		A	論点をしっかりと整理して記述できている	B	論点をある程度整理して記述している	C	論点があまり整理して記述されていない	観点2 考察		A	得た知識と既知の知識・体験の有機的なつながりが多く見られる	B	得た知識と既知の知識・体験の有機的なつながりが多少見られる	C	表層的な感想や意見にとどまっている
観点1 知識																			
A	論点をしっかりと整理して記述できている																		
B	論点をある程度整理して記述している																		
C	論点があまり整理して記述されていない																		
観点2 考察																			
A	得た知識と既知の知識・体験の有機的なつながりが多く見られる																		
B	得た知識と既知の知識・体験の有機的なつながりが多少見られる																		
C	表層的な感想や意見にとどまっている																		
宿題指示	学びの記録																		